

# ウォーターフォール表示機能追加について

ファームウェアをアップデートすることにより、微弱な信号の存在やバンドの状況の時間的な変化などを容易に確認することができる「ウォーターフォール表示機能」を使用できます。これにより、メニューモード「124 SCOPE MODE」および「185 FFT DISPLAY MODE」が以下のように変更になりました。

## ■ウォーターフォール表示設定

ウォーターフォールを表示させるには、“メニューモード「124 SCOPE MODE」”の設定を変更します。

1. 【MENU】キーを押して、メニューモードにします。
2. 【VFO-B/CLAR】ツマミをまわして（または▲/▼キーを押して）、“メニューモード「124 SCOPE MODE」”を選択します。
3. 【SELECT】キーを押します。
4. 【VFO-B/CLAR】ツマミをまわして（または▲/▼キーを押して）、表示条件を選択します。

設定	動作
CENTER	現在の周波数を中心とした、スペクトラムスコープのみを表示します。
CENTER-WF	現在の周波数を中心とした、スペクトラムスコープとウォーターフォールを表示します。
FIX	画面左端の周波数を固定したスペクトラムスコープのみを表示します。
FIX-WF	画面左端の周波数を固定したスペクトラムスコープとウォーターフォールを表示します。

5. 【SELECT】キーを押して確定します。
6. 【MENU】キーを押すと、メニューモードが終了します。

## ■AF-FFT 画面表示の切り換え

“メニューモード「185 FFT DISPLAY MODE」”の設定で、AF-FFT 画面の表示内容を変更することができます。

設定	動作
SPECTRUM	スペクトラム表示
WATER FALL	ウォーターフォール表示
SPECTRUM-WF	スペクトラムおよびウォーターフォール表示

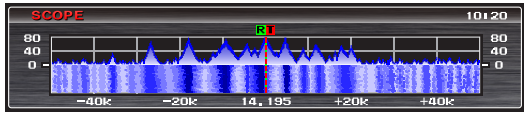
## ■画面表示の切り換え

【SCOPE】キーを押すたびに、TFT画面が右に示すように切り換わります。

【SELECT】キーを1秒以上押すことにより、そのときの表示画面をメモリーすることができます。

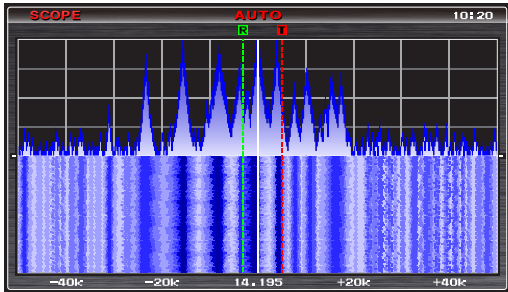
**画面表示の切り換え**

メニューモード「124 SCOPE MODE」の設定を「CENTER-WF」にした時の表示例



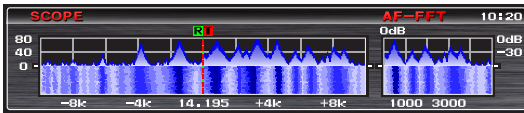
スペクトラムスコープ/ウォーターフォール表示

↓



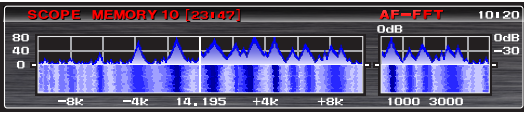
フルスクリーン表示  
(スペクトラムスコープ/ウォーターフォール表示)

↓




AF-FFT 付き表示  
(FTdx1200では、オプションのFFT-1が必要です)  
AF-FFT画面の表示は、メニューモード「185 FFT DISPLAY MODE」で変更することができます

↓



メモリー画面表示  
(スコープ画面がメモリーされている場合のみ)

↓



マルチファンクション表示